

今週（11月21日から11月25日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週のインターバンク市場は、日銀当座預金残高が310兆円台前半で推移する中、無担保コールO/Nは▲0.078～▲0.03%での出会いが中心となった。積みの序盤であったものの、調達ニーズは弱く、無担保コールO/N加重平均レートは週を通して▲0.05%台で推移した。また、21日と24日に一部の証券業態による試し取りが行われたが、全体への影響は少なく、両日とも落ち着いた取引となった。ターム物は、1W～1M物で、▲0.035～0%で複数の出会いが見られた。固定金利方式の共通担保オペは24日に2本オファーされた。2W・8,000億円でオファーされたものは、落札額2,851億円(期落ち額1,901億円)となり、3M・5,000億円でオファーされたものは、落札額100億円(期落ち額150億円)となった。

●レポ市場

今週のGC O/N物は、▲0.10～▲0.085%程度の水準で推移した。21日のS/N(11/24-11/25)、および22日のS/N(11/25-11/28)は▲0.10～▲0.09%程度での出会い。24日のS/N(11/28-11/29)は短国発行要因から▲0.095～▲0.085%程度までレートを切り上げたが、翌日のT/N段階では全体的にオファーが薄く、一部では▲0.10%近辺まで買い進まれた。25日のS/N(11/29-11/30)は、▲0.10～▲0.09%程度の水準で推移した。SCIは個別銘柄では、5年127～129、10年340～344、20年155～158、30年48～52、40年9などカレント近辺の銘柄にビッドの出入りが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、海外勢の買いが見られるようになったものの、全般的には動意に乏しい閑散なマーケットとなった。24日には3M物の入札が実施された。海外勢のニーズが見られていたこともあり、WI取引では▲0.295%と強めの出会いが見られ、平均▲0.2873%、按分▲0.2754%と堅調な結果となった。セカンダリー市場では、▲0.295～▲0.285%で推移した。また、6M物が短国買入オペを意識してか、▲0.295～▲0.290%と、少額ながら強めの出会いも見られた。短国買入オペは25日に市場予想通り1兆円で実施された。平均落札利回較差▲0.009%、按分落札利回較差▲0.001%、応札額18,547億円と、好需給を反映した堅調な結果となった。11月中の短国買入オペの合計オファー額は6兆円となり、11月末の短国買入残高は42兆8,000億円程度となることが見込まれ、10月末残高（438,927億円）より1兆円程度減少すると推定される。

●CP市場

今週のCP市場は、入札ベースの週間償還総額3,000億円程度に対し、幅広い業態（鉄鋼・石油・電機機器・小売・電力・ノンバンク等）から大型の発行案件が見られ、週間発行総額は6,500億円程度まで膨らんだ。週後半には、賞与手当てに絡んだと見られる発行も行われ、発行総額を押し上げた格好となった。発行レートは、引き続き0%近辺となっているが、短いターム物や発行残高が積み上がっている銘柄では、極僅かに上昇するものも見られた。25日に3,500億円で実施されたCP等買入オペは、前回からオファー額が500億円増額され、買入対象銘柄もそれなりにあったものの、ディーラーの売り急ぐ動きが限定的であったため、平均落札利回▲0.001%、按分落札利回▲0.004%と前回比で小幅上昇の結果にとどまった。

●短期金融市場関連指標

	日経平均 (円)	新発10年物 国債利回り (%)	為替 (ドル/円中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート(翌日物・ T+1スタート・%)	日銀当座預金残高 (億円)
11/21 (月)	18,106.02	0.025	110.93	△ 0.051	△ 0.092	3,117,300
11/22 (火)	18,162.94	0.025	110.50	△ 0.053	△ 0.092	3,142,400
11/23 (水)						
11/24 (木)	18,333.41	0.030	112.65	△ 0.054	△ 0.093	3,147,000
11/25 (金)	18,381.22	0.033	113.75	△ 0.054	△ 0.095	3,144,800

来週（11月28日から12月2日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
11/28 (月)					
11/29 (火)	10月の労働力調査(完全失業率 総務省 8:30) 10月の全世帯家計調査(総務省 8:30) 10月の一般職業紹介状況(=有効求人倍率 厚生労働省 8:30) 10月の商業動態統計速報(経済産業省 8:50)	2Y 23,000億円 12/15発行			7-9月期の米GDP改定値 9月のS&P/ケース・シラー住宅価格指数 11月の米CB消費者信頼感指数
11/30 (水)	10月の鉱工業生産・出荷・在庫速報(経済産業省 8:50) 10月の住宅着工統計(国土交通省 14:00)	交付税借入 10,500億円 12/9借入			米ページブック 10月の米個人所得・消費支出 11月のシカゴPM景況感指数 11月のユーロ圏消費者物価指数速報値
12/1 (木)	滋賀県金融経済懇談会にて櫻井審議委員講演 7-9月期の法人企業統計調査季報(財務省 8:50)	TB3M 44,000億円 12/5発行	10Y 24,000億円 12/20発行		10月の米建設支出 11月のISM 製造業景況指数
12/2 (金)	11月のマネタリーベース(日銀 8:50) 財政資金対民間収支前月実績/当月見込み(財務省 15:00)				11月の米雇用統計

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給予因
11/28 (月)	▲ 300	▲ 7,300	▲ 7,600	国債買入 全店共通 CP買入 ETF買入 国債補充	▲ 2,100 ▲ 200 100	12,400 3,000 100	13,300	5,700	TB3M発行▲44000償還44700 20Y発行▲11000
11/29 (火)	▲ 1,000	▲ 4,000	▲ 5,000	短国買入		10,000	10,000	5,000	
11/30 (水)	▲ 1,200	13,700	12,500	CP買入		3,500	3,500	16,000	地方法人特別税
12/1 (木)	▲ 2,000	▲ 14,000	▲ 16,000				0	▲ 16,000	
12/2 (金)	▲ 2,000	▲ 58,000	▲ 60,000	成長基盤	▲ 1,600		▲ 1,600	▲ 61,600	税揚げ 年金保険料揚げ 交付税借入▲10500期日10500
週間合計	▲ 6,500	▲ 69,600	▲ 76,100	—	▲ 3,800	29,000	25,200	▲ 50,900	

11/28は日銀予想、11/29以降は当社予想

●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は、12月2日に税・保険料揚げがあり、大幅な資金不足が予想される。無担保コールO/Nは▲0.05%程度での推移が見込まれるが、月末の30日は取引を手控える先が増加するため、低下も考えられる。
短国市場は、1日に3M物の入札が予定されており、堅調な地合いが継続すると予想される。30日には12月末の国庫短期証券の買入れ残高見込みが発表される。
CP市場は月末発行にかかる週となり、12月の賞与に絡む発行等が行われるため、発行案件の大幅増加が見込まれる。

主要なイベントとしては29日の7-9月期米GDP改定値、30日のページブック、11月のユーロ圏CPI速報値、2日の11月の米雇用統計などが挙げられる。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入